

第117期 株主通信

STANLEY REPORT

2021年4月1日～2022年3月31日



スタンレー電気株式会社
STANLEY ELECTRIC CO., LTD.

証券コード:6923

総合力を発揮し、競争力ある企業へ



代表取締役社長

貝佐泰昭

新社長略歴

貝佐 泰昭 (かいずみ やすあき)

1963年12月 22日生

1987年 4月 入社

2011年 4月 設計技術センター部門長

2013年 6月 インテグレートッドコンポーネンツ事業部長

2017年 6月 取締役 先進技術担当

2020年 6月 米州事業担当

2021年 1月 技術担当(現任)

2021年 6月 常務取締役 環境担当 情報システム担当

2022年 4月 代表取締役社長(現任)

株主の皆さまへ

株主の皆さまには平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は第Ⅶ期中期3ヶ年経営計画を定めて実行しており、2022年度はその最終年度です。この計画を完遂するため、当社は4月1日に組織改正を行いました。

その狙いについて、同じく4月1日に新社長に就任した貝佐泰昭よりご報告させていただきます。

「機能」の統括による事業活動の効率化

事業部制をとるスタンレーは事業部ごとに設計、生産、販売の役割を持ち、それぞれが独立採算を保つことで企業活動全体を推進しています。一方、品質保証、購買、人事などの多岐にわたる「機能」は、事業部を横断する横串として役割を果たしてきました。

このたび、この「機能」をスタンレーグループ全体でグローバルに束ねるために統括部を新設しました。

これにより各機能の責任を明確にし、事業活動のより一層の効率化を図ってまいります。

事業部の壁を越えて

事業部制の欠点の一つは組織が縦割りになりがちで、得意先情報などの重要情報が事業部間で共有しづらい点です。それらの問題を解決するために、新たに自動車機器事業、電子機器事業それぞれに営業統括部を新設し、スタンレーグループ全体の営業活動を牽引する体制を構築しました。

事業部の壁を越えて集団としてのスタンレーの強みを発揮することで、お客様からのご要望に柔軟に、そしてトータルにお応えします。

ランプシステムメーカーへの変革

自動車機器事業においては、各カーメーカー様のご要望はそれぞれに異なりますが、課題解決のための共通項があることも事実です。新設した自動車営業統括部がリーダーシップを発揮し、問題解決のスピードアップを図ります。

また、技術開発部門はさらにチーム力を活かし、開設間もない秦野テクニカルセンターを十二分に活用することで成果の創出を加速します。

スタンレーの総合力で、ランプシステムメーカーへの変革を実現します。

電子機器事業の拡大に向けて

スタンレーの電子機器事業の主力製品である発光ダイオード(LED)や液晶表示素子(LCD)は優れた製品です。しかし、今お客様から求められているのは、単品ではなく機能です。スタンレーの総合力を発揮した提案が望まれているのです。

幸いスタンレーには、優れたデバイスを手がける事業部と電子アセンブリが得意な事業部があります。このた

び新設した電子営業統括部が事業部間を媒介し、デバイスから応用製品に至る技術力を結集してお客様のニーズにお応えしてまいります。

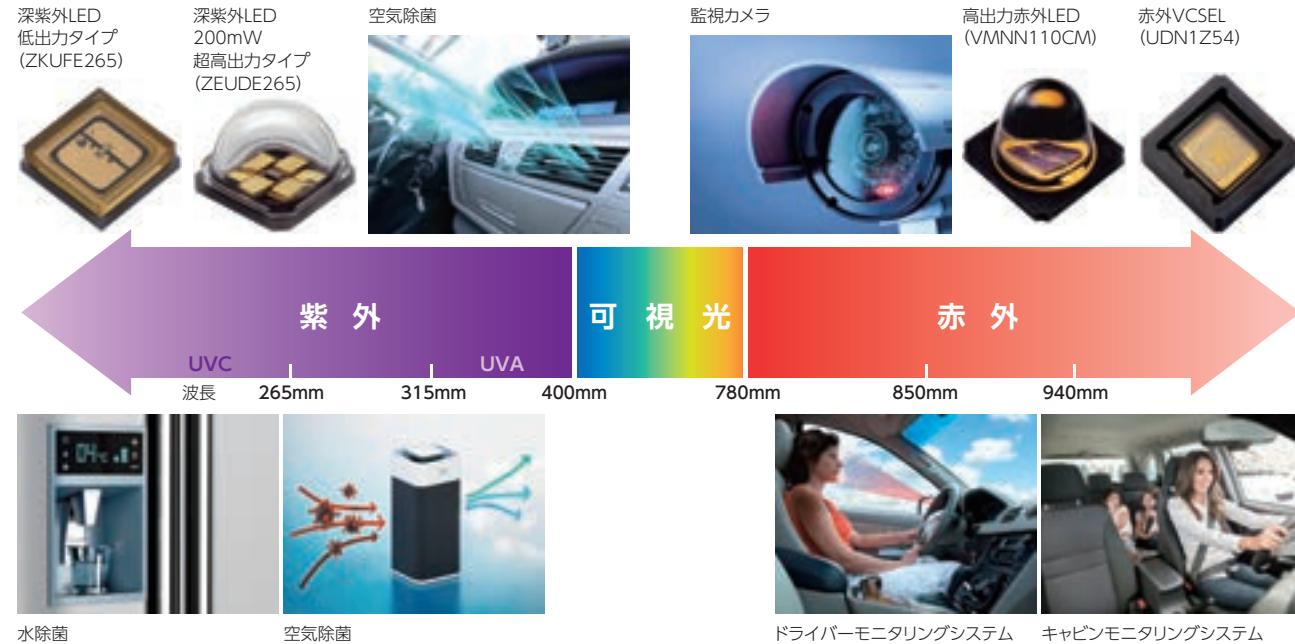
製品づくりの考え方-TADAS

最後に当社の製品づくりの考え方をご紹介します。「TADAS」です。通常、安全安心を得るにはお金がかかりますが、当社はお金をかけずにすべての人に安全安心を届けたいという思いから、「お金をかけないADAS(先進運転支援システム)」、「タダのものがいっぱいある」という二つの意味を含め、この「TADAS」という考え方を導入しました。全ての機能を使い切り、ムダを無くした製品を皆さまにお届けしてまいりたいと考えております。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



■ 当社製品が“見えない光”の領域へ広がる



深紫外LED

2021年度は、民生家電用途向けを主とした低価格/低出力タイプと、より除菌性能の高い200mW超高出力タイプをリリースしました。身近に使用される家電製品から、店舗や工場などで使用される処理量の多い水除菌システムまで、より多くのシーンで紫外線除菌による安全安心な暮らしを提供できる製品ラインアップとなりました。

2022年度は飲み水や家電だけでなく、空調、車載、水産業などの用途にも広く搭載が始まります。今後は当社独自技術を用いて素子とパッケージの改良・開発を行い、より効率的な紫外線除菌光源を提供することで、水や空気の除菌におけるLED化を実現していきます。

赤外LED、赤外VCSEL

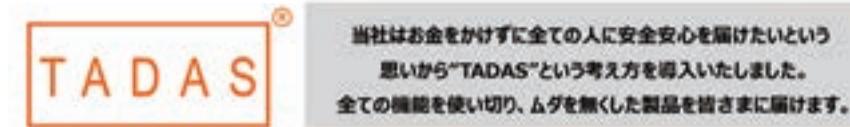
赤外LEDは監視カメラや自動車用車内監視だけでなく、顔認証や生体認証などさまざまなシーンで現在使用されています。2021年度は高出力ラインアップがさらに充実し、ドライバー監視の需要が高まる車載用途への展開が加速しました。また、赤外VCSELは車載用途への量産出荷を開始し、2022年内に街中を走る実際の自動車に搭載されていきます。

今後は欧州をはじめとする車内監視の法規化に沿って、LEDもVCSELも搭載が増加していく見込みです。

■ スタンレー技術展2022を開催

3月16日～18日に神奈川県・秦野テクニカルセンター内の設計技術棟、並びにライトトンネル棟でスタンレー技術展2022を開催しました。新型コロナウイルス感染状況を鑑み、お客様を会場へお呼びせずリモート(動画やライブ中継)による開催となりました。

開催の目的は、今後100年の当社がめざす姿を、お客様にご理解いただき、ビジネスの発展と拡大につなげることです。「TADAS」という考え方をもとに「モビリティの安全安心」や「生活の安全安心」など、6つのコーナーを設け、40テーマの当社最新の技術や安全安心の考え方を紹介しました。



車載用MEMS

全領域可変配光でシームレスな光の制御、エネルギーロスが少ない究極のヘッドランプを実現する



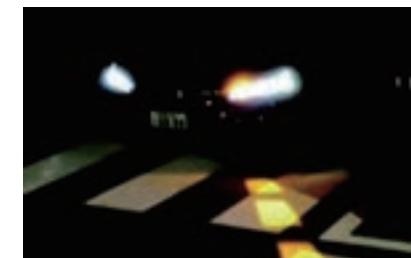
先行車のリアウィンドウへの照射制御



極小ミラーを上下左右に制御して配光

信号灯路面照射

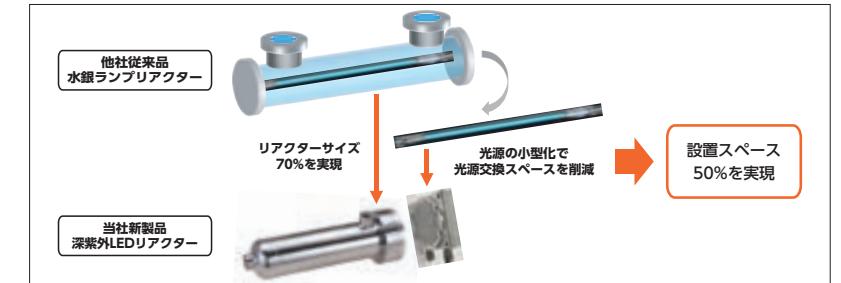
路面照射と信号灯配光の両機能を持ち、見通しの悪い交差点等で車の存在を知らせる



路面照射で歩行者の注意を喚起

深紫外LEDリアクター

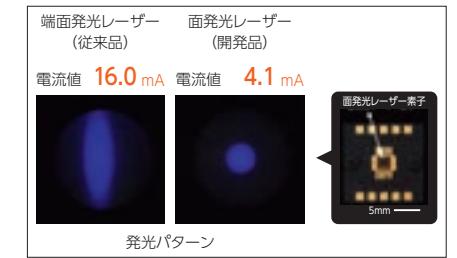
UV利用効率6倍を達成し、リアクターサイズのコンパクト化を実現。光源を小型化したことで光源交換スペースを削減。合わせて設置スペース50%を実現。



展示の一部をご紹介します

面発光レーザー

独自技術でピンポイント照射を実現



従来の端面発光と比較し、ピンポイント・低電力での照射が可能

■ 新市場区分「プライム市場」を選択

当社は、2021年7月9日付で株式会社東京証券取引所より新市場区分における上場維持基準への適合状況に関する一次判定結果を受領し、「プライム市場」の上場維持基準に適合していることを確認いたしました。この結果に基づき、2021年11月22日開催の取締役会において決議し、当社が所属する新市場区分として2022年4月4日から「プライム市場」を選択しております。

■ 元代表取締役社長・北野隆典お別れの会

2021年1月26日に逝去した元代表取締役社長・北野隆典のお別れの会を2022年2月1日にThe Okura Tokyoで執り行いました。新型コロナウイルスの影響により開催が延期されましたが、ゆかりのみなさん650名にご参会いただき見送ることができました。会場では在りし日の写真パネルや愛車を展示し、故人を偲びました。

故人の思いをしっかりと受け継ぎ、社業の発展を通じて社会に貢献できるよう邁進してまいります。



■ チームクニミツ高橋国光総監督ご逝去



2022年3月16日モータースポーツ界のレジェンド、高橋国光さんが82歳で逝去されました。日本人レーサーがロードレース世界選手権（世界GP）に出場することなどまれな時代に、国光さんは世界GPで日本人として初めて優勝するなど、二輪・四輪の世界で数々の偉業を成し遂げ、新たな道を切り拓かれました。当社は1995年のル・マン24時間レースからサブスポンサー、翌1996年よりメインスポンサーとしてお付き合いさせていただき、RAYBRIG、およびSTANLEYブランドの価値向上に対し多大なるご貢献をいただきました。

長きにわたるご厚誼に深く感謝いたしますとともに、社員一同、謹んで哀悼の意を表します。

持続可能な社会のために スタンレーの取り組み

スタンレーは、より豊かで、持続可能な社会をめざしてさまざまな社会・環境・経済活動に取り組んでいます



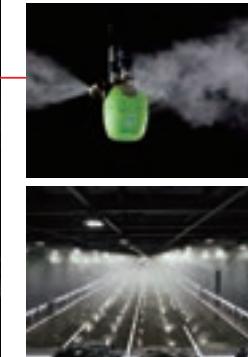
夜間の交通死亡事故ゼロへの貢献

神奈川県・秦野テクニカルセンターにある世界最長級（220m）の屋内試験施設「ライトトンネル棟」では、自然環境を徹底再現することができます。車での使用方を考慮したランプシステムの要件定義から実車での検証実験まで、安全安心を追求する実証環境が備わっています。

降雨設備



噴霧設備



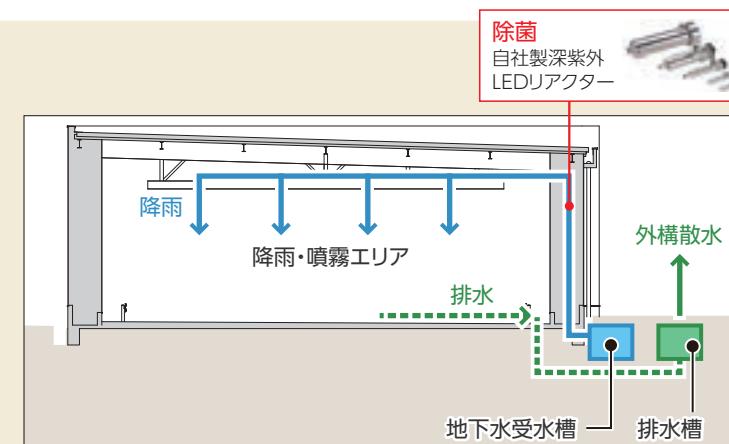
環境への配慮

降雨実験に除菌した地下水を利用

ライトトンネル棟内での降雨実験には自社製深紫外LEDリアクターで除菌した地下水を利用しています。除菌した水を使用することで、安全安心に実験を行うことができます。

実験水の再利用

降雨・噴霧実験で使用した水は外構散水として再利用しています。



Corporate Profile (2022年3月31日現在)

会社の概要

創業 1920年12月29日(大正9年)
設立 1933年 5月 5日(昭和8年)
資本金 30,514百万円
社員数 17,022人(連結)

拠点

本社 東京都目黒区
営業拠点 大阪/名古屋/大宮/狭山/朝霞/鈴鹿
生産拠点 秦野/岡崎/浜松/広島/山形
研究開発拠点 横浜/宇都宮/秦野
連結子会社 国内8社、海外29社
持分法適用会社 海外3社

事業内容

自動車機器事業

- ヘッドランプ(LED・HID・ハロゲン)
- リアコンビネーションランプ
- ターンシグナルランプ
- フォグランプ
- 自動車用バルブ(LED・電球) 他



ヘッドランプ
(Honda・VEZEL)



ヘッドランプ
(Honda・NT1100)

コンポーネンツ事業

- LED(紫外・可視光・赤外)
- 光センサー
- 液晶表示デバイス
- UV-CCL(紫外線冷陰極管)
- 超小形電球 他



深紫外LED(水除菌)



赤外VCSEL(キャビンモニタリングシステム)



電子応用製品事業

- LED照明(景観・道路等)
- 操作パネル
- 液晶用バックライトユニット
- カメラ用ストロボ
- 車載用センサー
- UV除菌製品 他



道路照明



A&NUV
空間除菌機

連結財務ハイライト

売上高

3,825億円

営業利益

277億円

経常利益

367億円

親会社株主に帰属
する当期純利益

214億円

STANLEY

スタンレー電気株式会社
STANLEY ELECTRIC CO., LTD.

〒153-8636 東京都目黒区中目黒2-9-13
TEL:03-6866-2222 FAX:03-6866-2678
URL:https://www.stanley.co.jp/

表紙に使用

デイトタイムランニングランプ(Honda・VEZEL)

計3種の導光レンズを用いた配光制御により、正面のグリル部から奥行きある外側フェンダー部にかけて、均一発光を実現しています。